



平成 2 6 年 度

事業実施計画

平成 26 年度 e-Knowledge コンソーシアム四国 事業実施計画

平成 26 年度 e-Knowledge コンソーシアム四国事業実施計画

平成 25 年 7 月 11 日
eK4 事務局

① 教養教育(四国学)および専門教育コンテンツの活用

これまでと同様に、四国学の e-Learning コンテンツを連携大学の教養教育科目として活用する。また、学際科目の e-Learning コンテンツを連携大学の教養教育科目または専門科目として活用する。これらのコンテンツ配信には各連携大学の LMS を利用する。

② e-Learning コンテンツの開発

これまでと同様に、e-Knowledge コンソーシアム四国に提供する四国学や学際科目の e-Learning コンテンツを開発する。

③ 事業報告シンポジウムの開催(平成 27 年 2 月または 3 月)

平成 26 年度の事業内容を広く公開するために、事業報告シンポジウムを開催する。

④ 共同研究シンポジウムの開催

企画委員会が中心となり、共同研究シンポジウム等を開催する。

⑤ 四国学を通じた四国の魅力を全国へ発信

企画委員会が中心となり、WWW、メールマガジン、ニュースレターにより四国学を通じた四国の魅力を全国へ発信する。

⑥ 外部評価委員会の開催

外部評価委員会を開催し、コンソーシアム四国全体および各専門分野の活動計画とその達成度を評価する。それぞれは、PDCA サイクルを基本に1年間を1サイクルとして評価を実施する。

⑦ 著作権処理の共同対応の検討

著作権処理に関して、個々の大学で対応するのではなく、WGを立ち上げるなどして、eK4 全体として対応できる体制の整備を検討する。

その他(各連携大学が個別対応で取り組む項目)

(徳島大学)特になし

(鳴門教育大学)特になし

(香川大学)

・オープンコンテンツ化の検討

香川大学の個々のコンテンツについて、オープンコンテンツ化できるかを調査する。

・人材育成に関わる新規事業の検討・実施

瀬戸内国際芸術祭への香川大学および学生の取り組みを通じ、人材育成のあり方について検討する。

(愛媛大学)特になし

(高知大学)特になし

(四国大学)特になし

(徳島文理大学)特になし

(高知工科大学)

・Learning Management Systemをはじめとするシステムにおいて、学習者・授業担当者・運用担当者にとって利便性の高い拡張モジュールの検討を行う。